

中央アルプス その① [編集する](#)

2011年09月30日 02:33 [友人の友人まで公開](#)

11 view



《写真》中央アルプスの象徴(!?), 宝剣岳!

というわけで、久々に単独で、中央アルプスを縦走してきました～🏔️

9月23日(金) 移動日

揺らり揺られて🚆 木曽福島へ移動。駅から徒歩5分の場所にスーパー(イオン)があり、ここで食材を買いこんで、本日の宿泊先へ🚗➡️



木曽旅情庵ユースホステル🏠

素泊まりのみで、会員¥2,800、非会員¥3,600

ここは、古民家を改築したそうで、



食堂。奥の部屋が台所で、食材を持ち込めば自炊可能🍴🔪



談話室。奥は和室で、本棚には 1980 年代の漫画雑誌(ジャンプ等)もあった。懐かしい。

ユースホステル🏠

快適なサービスは求められないけれど、必要最低限のものは、揃っている。宿泊客が少ないので、4人部屋は貸切で使わせてもらった。商売っ気は感じられず、いつ潰れてもおかしくなさそうだけど...、潰してしまうのはもったいないな、とも思われます、はい👏

ちなみに今夜の宿泊客は3名。そのうち1名はユースホステルの会員。かつては自転車でユースホステル巡りをするのが趣味だったとか。(→ユースホステルは、一部のライダーにも人気らしい👍)

この人から、駒ヶ根(菅の台バスセンター付近)にもユースホステルがあることを教えてもらう。おれは高速バスの移動が多いので、駒ヶ根に夜中に到着した場合は、仮眠施設として使えるかも!?💡

9月24日(土) 快晴🌞

※おはようからおやすみまで、快晴!!

出だしから民家の路地で道迷い...。15分のロス。(→ユースホステルから、一度大原のバス停に戻るのが正解。。。👇)

しばらくは車道歩き。ここ周辺は別荘地であり、朝の散歩やジョギングを楽しむ人もいた。



スキー場入口の案内図。

スキー場を登りきった所が二合目で、登山道(木曽福島 B コース)が始まる。後から知ったことだが、ここは複数ある木曽駒へのルートの中でも比較的多くの登山客に歩かれ、数年前までは中学生も学校行事で登っていたとか。(→現在は、中学生は御嶽山に登っているらしい。) 確かによく踏み込まれた登山道だった🍀



しばらくは林道歩き。じわじわと標高を稼いだところで、



幸ノ川(こうのかわ)。徒渉が必要だが、おとといの台風の影響か水量が多く、ジャンプしながら対岸に渡る。

ここから5合目までは急登。そしてまた緩やかな登りに変わり、6.9合目の見晴台(西側には御嶽山、北側には乗鞍、穂高、槍が一望!!)を経て、



7合目避難小屋。数年前に建て替えられたようで、とてもきれい✨

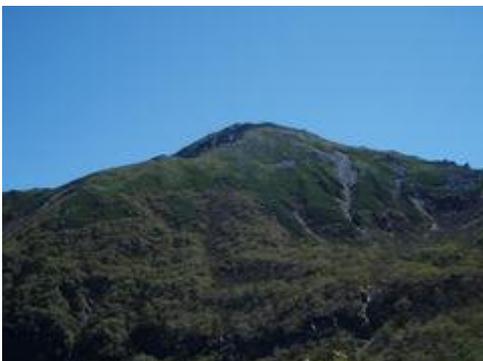


トイレは水洗♪

ここから森林限界が近づき、明るい登山道となる。



山姥と呼ばれる一帯は、大きな岩がゴロゴロ。

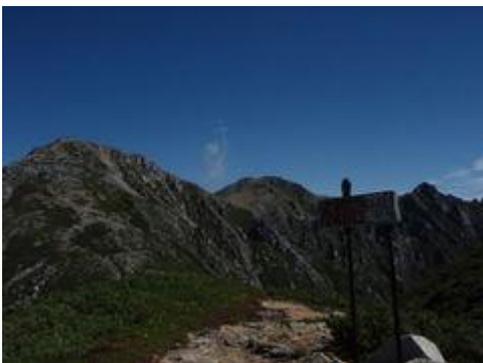


八合目付近から、駒ヶ岳山頂を仰ぎみる。青空も嬉しい!! 🏔️



9合目に窪ノ玉山荘。小屋番さんが、ふとんや枕を干していた。

ここにザックを置かせてもらい、ピストンしたのが



木曾前岳山頂 🙌

遠方は、左側から駒ヶ岳、中岳、宝剣岳 🌄

再び9合目に戻り、ラストの登り。山頂の手前で山小屋発見 🏠💡

小屋番さんに話しかけられ、最近ではロープウェイで上がってくる人が多いのに、よく下から歩いてきた、と苦
労をねぎらわれた ✨

しかし、この小屋番さん、たいへん物腰の柔らかいおじいちゃんだったのだが、どうも予約を入れておいた時に聞いていた話と食い違う点が多かった。。。😞

★素泊まり¥6,000

(→¥5,500 のはずでは!?)

★水は、天水が¥100/l か、ペットボトル 500ml を¥300 で購入すべし

(→宿泊者は無料と聞いていたが...)

★今夜は団体客がいるので、食事の準備時間から食事中は、食堂で自炊禁止。自炊したければ、夕方は4時前までに、朝は4時半前に終わらせろ。

(→えー!?)

山だから値段が高いのは仕方ないとしても、自炊の時間まで限定されるのは困る...。素泊まり客はここまで冷遇されるのか...💧💧

納得のいかないまま荷物を置き、とりあえずあとほんのちょっとの山頂に

レッツだゴー!!👊



木曾駒ヶ岳!!(2956m)👉

山頂は、びっくりするくらい人が多い。やはり駒ヶ根側からのロープウェイ効果は強大 🦋

360度パノラマの山頂だったが、ここからふと南側を見下ろせば、



山小屋を発見 🏠

先程言われた自炊の時間がどうしてもネックなので、ここに余裕があれば移動させてもらおうかなと思い、山小屋に相談しに行くと...

なんと 🤔

実は、ここが予約を入れていた「頂上山荘」だったことが判明。。。 🤔 確かに事前に予約の電話で聞いていた内容と話は一致 📍

(→そして先程荷物を置いた山荘は、「木曾頂上小屋」という名前の山小屋でした…。まぎらわしい名前だ。)

結局、木曾頂上小屋に戻り、お引越し〜。(木曾頂上小屋の小屋番さんも、事情はわかってくれ、宿泊代も返してもらった。すみません。。。😓)

ちなみに頂上山荘では、今夜の宿泊客も満員ではないから、空きテーブルで自由に自炊をしようと言われて、めでたしめでたし。

それにしても、至近距離の小屋で、こんなにもサービスが違うとは... 😓

【🏠頂上小屋情報】

★基本は土日祝のみの営業。(→それ以外は宝剣山荘に案内される。)

★定員最大 70 名の小屋を、2 名のスタッフで切り盛りしている。

(→8 月は臨時のバイトが来ることもある。)

★トイレは小屋内にはなく、テント場と共同の仮設トイレが4つ。

(→仮設といっても、そこまで汚くない。)

★水場あり♪(→数百メートル下の湧水を、ポンプで汲み上げている。)

(→しかし前日は寒波で水道が凍ったらしい。)

夜、同室者と小屋番さんと、ストーブを囲んでいろいろ話した。4 年前に知人の紹介でこの仕事を始めた小屋番さん。今の仕事は好きだけど、基本的に山登りは好きではないので、いろんな情報を持っていても、そのほとんどが人づてで聞いた話だという。。。 なかなか味のある小屋番さんでした。

5:40 ユースホステル出発

(民家で道迷い)

5:55 ユースホステル 再スタート

7:00 スキー場上の登山口(二合目)

7:40 幸ノ川

8:00 四合目

8:55 五合目

9:20 六合目

10:00-10:20 七合目避難小屋(昼食)

11:00 八合目(水場)

12:00-12:05 九合目(玉ノ窪山荘)

12:15 木曾前岳

12:25 九合目(玉ノ窪山荘)

12:50 木曾頂上小屋

13:15 木曾頂上小屋

13:20-13:55 木曾駒ヶ岳

14:00-14:05 頂上山荘

14:30-14:40 木曾頂上小屋

14:45-15:10 木曾駒ヶ岳

15:15 頂上山荘

そして、夜は満点の星空 

つづく。

中央アルプス その② [編集する](#)

2011年09月30日 03:48 [友人の友人まで公開](#)

10 view



《写真》岩場の陰に潜んでいた、コマウスユキソウ

9月25日(日)

出発が遅れ、山荘内の窓から、御来光を拝む 🙏



残念。御来光、ちょっとぼけてるね。

というわけで、今日はひたすら縦走デー 🚶👉 まずは中岳を軽〜く越えて、



目指すは宝剣岳!!

この独特な形。やっぱり駒ヶ岳よりも宝剣岳の方が、中央アルプスの中でもひととき目立つ存在のような気がする。北アルプスでいう槍ヶ岳のようなもの!? (振り返った駒ヶ岳は、ずいぶん穏やかな、丘のような山なのである。)

宝剣岳付近は、地図上は点線ルートにはなっているが、鎖等がとてもよく整備されており、難なく辿り着いたのでありました。



宝剣岳!!👌



宝剣岳から見下ろした千畳敷。以前 8 月上旬に来た時はお花畑だったけど、今日は若干秋の気配が漂う雰囲気。草紅葉も見ればよかったな、なんて～🌼

その後は、空木岳を目指して、縦走縦走縦走～👣

極楽平を過ぎれば登山客の数は一気に減る。アップダウンは多いけど、暑すぎず、寒すぎず、気持ちのよい稜線歩きでした。天気もサイコー。

(以下、縦走路の説明は難しいので、写真でお楽しみください。)





檜尾岳。

ここから駒ヶ根方面へ下る、檜尾尾根がある。山頂付近に避難小屋もあり、ここから登る人、下る人も多い💡





ん!? ハイマツ、一部分だけ紅葉!?
(→ここだけ陽のあたり方が違うのかな!?)



だっ広い山頂、熊沢岳。

そして、この辺りから、だんだん怪しいガスが上がってきたのでありました... ↓



東川岳。



東川岳から木曾殿山荘に下る途中、その先にあるのが空木岳への最後の登りを眺める。えらく急…。



木曾殿山荘。

ここは、事前予約がないと断固として宿泊を断ることで有名な。水場はここから徒歩 7~8 分💡

ここから本日最後の登りとなるので、一応腹ごしらえをしたところで🍞、よしっ、行ってみよ🍞



登って、登って、登るの図。



標高 300m 強を一気に登りきった一、と思ったら...



第 1 ピークって... てっきりここが空木岳だと期待していた分...。まぎらわしいやつだ...

この辺りの標高からガスの中に突入。視界が一気に悪くなる。



また岩場の連続で、整備はされているけれど、思わぬ伏兵に遭遇した気分。あとちょっとだとわかっているも、足が重たい...😓



それでも歩くしかないよね、と...

歩くしかないよね、と…。

と…。

と…。

見えた——!!



空木岳 📍

(見事に真っ白——!! 🌟)

視界がない分、距離感がいまいちだったけど、やっぱり山頂は嬉しいね 🤗

(まあ、昨日晴れすぎてしまったから、今日はこのくらいでも仕方ない、としておこう。)

で、この時点で 13:10。実はガスが出始めた頃から、これ以上天気がよくなるなら、このまま下山してしまおうかと思いながら歩いていたのだが。。。 (→下山なら、体力的にも問題ない感じだった。)



とりあえず、山頂直下の避難小屋、駒峰ヒュッテへ。

中を覗いてみたら、木曾殿山荘での休憩中に出会った夫婦に、寝るならここに一緒に寝ようよ、と声をかけられた。

うーん、なんだかこの雰囲気流されてる!? 😞

と思いつつ、

旅は道連れ 🤔

と思いつつ、

結局、今日下山しても駒ヶ根で1泊する必要があるし、もしかしたら、これから空木で夕焼けや御来光が見られるかもしれないし、という期待もこめて。。。

はい、予定どおり、ここに宿泊決定 😊

5:50 頂上小屋
6:20-6:30 宝剣岳
7:00 極楽平
8:55-9:05 檜尾山
10:05-10:15 熊沢岳
11:15-11:25 東川岳
11:40-12:05 木曾殿小屋 (水場まで往復 10 分し、昼食)
13:10-13:15 空木岳
13:20 駒峰ヒュッテ

【🏠駒峰ヒュッテ情報】



- ★きれい
- ★素泊まり(寝具持ち込み)¥3,500
- ★素泊まり(寝具利用)¥4,500
- ★寝具は、キャンプ用のシュラフと、銀マットが借りられる
- ★小屋番は土日のみ滞在(→この日はいなかった)
- ★セルフで水やカップめんは販売していたが、在庫が少なく早い者勝ち。
- ★トイレは小屋に併設されているが、一度屋外に出る必要がある。
(→利用後はポンプを押し、天水で流すしくみ。)

結局、一度小屋に入ってしまったら、あとはずっと宿泊客としゃべっていた。天気が一向に回復しなかったのが、残念... 😞

9月26日(月)

本日は思いっきり下山デー。標高差は2000m。いってみよー 🍷

とその前に、ウォーミングアップも兼ねて、空木岳山頂へ行ってみるが、東側(駒ヶ根側)のみ視界は開けているが、昨日歩いた稜線も、南駒ヶ岳方面も、何も見えず。残念...



東側の空。遠方の雲の中には南アルプスたちが、標高2800mくらいのラインできれいに隠れている。うーん... 😞

下山は、小屋で知り合った M 夫妻と一緒に歩く。

M 夫妻は、昨日おれとほぼ同じ時間にヒュッテに到着したものの、奥様が膝が痛くなりそうだからと、その日の下山を断念していた。しかし、今日一緒に歩いている限り、かなり快調に飛ばす人で、膝が痛くさえないければ、がんがん歩きたい😊

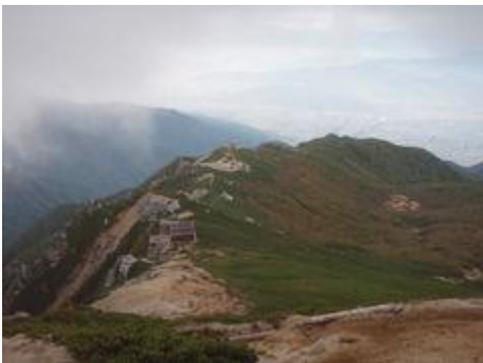
また、M 夫妻は、岩場好きで、穂高や妙義は登頂済みとのこと。さぞ経験が豊富なのかと思いきや、基本は食事つきの山小屋泊まりをし、軽装備で歩くタイプ。

なので、昨日小屋に着いた時点で、水を 400ml しか持っておらず…。(彼らにとっては、下山のみだから水は 400ml あれば十分だと思っていたらしい。また、避難小屋の宿泊は初めてで、駒峰ヒュッテには親切な小屋番がいるとの噂を聞き、木曾殿山荘をキャンセルして来たそうだが、水も買えない小屋には相当驚いていた。実際、水はセルフで売っていたのだが、他の人が先を越して買ってしまった様子。)

でも、前向きな人達だから(!?)、一晩くらい空腹でも何とかなる、と腹をくくっていたらしい😓

なので、昨夜、おれは水を 2.5 リットルは持っていたので、一緒にお茶したり、ここ数年間ザックに入れっぱなしだった非常食のアルファ米(でも賞味期限切れ)と、真空タイプのカップヌードルを作ってあげたら、とても喜んでくれ、こうして M 夫妻と仲良くなれたのでありました😊

(→賞味期限切れの非常食が、こんな形で役立つとは、と思いつつ、やっぱり申し訳ないような…。)



本日下山する尾根。その先の駒ヶ根の街も一望。



突如現れる大きな岩、駒石。



ここはやっぱり登ってみる。イエー。

この下山道は、比較的緩やかな下り。一部、傾斜のある下りはあるが、そこまで厳しくはない。



池山小屋付近、豊富に出る水場。ありがたや～。

さらに下る、どんどん緩やかになり、



登山口(約 1300m)。

ここで、一区切りついた気分だったが、実はまだまだ。ここから駒ヶ根高原までの下りが、いちばん厳しかったかも!? 緩やかな下りに慣れてしまうと、階段状に整備された登山道がきついが、スキー場を横目にしながら下れば、車道に出て、その先が駒ヶ根高原。

お疲れ様でした———— 🏔️

5:40 駒峰ヒュッテ
5:45-5:50 空木岳
5:55-6:00 駒峰ヒュッテ
6:20-6:25 駒石
7:30 ヨナ沢の頭
8:30-8:40 池山付近の水場
9:20 林道終点(登山口)
10:20 駒ヶ根高原

【🔥こまくさの湯】

★¥600

★露天風呂から、千畳敷や宝剣岳が見えた!!✨

さて、今回知り合った M 夫妻は、下山後の観光まで計画している人で、時間があるなら一緒にどうかと誘われる。イベント好きのおれも血が騒ぎます🤔

でも、まずは腹は減っては戦はできぬ。

【元祖光前寺そば やまだや保翁】

光前寺の正面にある蕎麦屋。12 時前に入ったが、けっこう混雑。



三味そば。左からとろろ、葉ワサビ、天ぷら(→なんと、りんごの天ぷら🍎でした) うまいっ🤗

【光前寺】



<http://www.kozenji.or.jp/mainframe.html>



霊犬早太郎が祀られています。

(→とある村で、毎年妖怪に少女をいけにえに捧げていたが、その妖怪を早太郎と呼ばれる犬が退治した
そうで、この犬こそ不動明王の生まれ変わりだと祀られるようになったとか。。。👹)

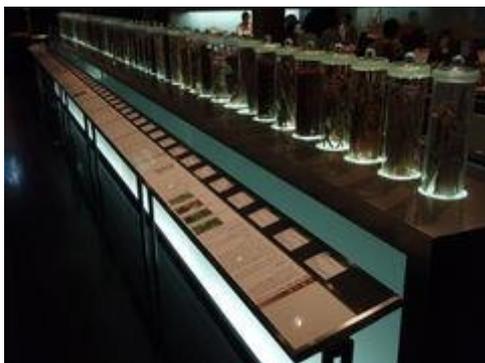
【養命酒 駒ヶ根工場見学】

駒ヶ根 IC からも近く、森の中にある工場。工場見学は 30 分程度で、少人数なら予約なしでも OK。400
年以上歴史のある養命酒に触れられます📖



すみません、撮影禁止だと後から知ったけど、撮ってしまったので載せちゃいます。包装工程。

中国のらっきょう工場を見慣れていたので、日本の工場がえらくオートマチックされていると、思わず感心



生薬がずらーっと並んでいる。当初は中央アルプスのふもとでとれる生薬から作られていたが、今では世界各国の生薬を集め、日々研究、改良を重ねているそうです。



駒ヶ根工場限定、養命酒ギフトパック。

実は、養命酒、ここで初めて飲みました。アルコール 14 度だから、普通にお酒だね。一口目は甘い。しかしあとから漢方薬の味が残る。確かに何か効いてる～、という感じでしたが、実際の効能が現れるのは、飲み続けて 2～3 ヶ月後だとか。

また、車で訪問した人には、こちら。



養命水。中央アルプスの清流から採れた水です✨

そんなこんなで、山行後も楽しい時間を過ごせたのでありました～🎵

さらに、帰りは M 夫妻に相模湖駅まで送ってもらう🚗 車中では、山の話や、山以外の話に盛り上がる。
今年はまだ登らないと言っていたけど、またお会いしたいものですね。お世話になりました💕

